

日本で同性婚を認めてもらうにはどうすれば良いのか？

3年4組35番 屋根彩加
3年4組13番 京師永遠音
3年1組11番 河口真愛

Keyword: 「LGBTQ」「LGBT教育」「性的マイノリティ」「レインボー」「ALLY」

1. 研究の背景

私たちは日本で同性婚が認められていないことに疑問を持ち、要因を模索した。私たちが考えた要因は、「日本は他国に比べてLGBTQに対する考え方が遅れている」だ。ではなぜ日本はLGBTQに対する考え方が遅れているのだろうか。この疑問を解決するために私たちは、LGBT先進国であるスウェーデンとカナダについて調査を行った。

2. 先行研究の検討

LGBT先進国であるスウェーデン、カナダと日本を比較した。

【スウェーデン】

- ・サムボ法...同性者に対して、婚姻している夫婦と同様の権利や保護を与える。
- ・教育...学校教育の中で性の多様性を尊重する上で必要となる価値観、知識を教えることが義務づけられている。

【カナダ】

- ・コモンロー法...異性、同性カップルどちらにも認められた法的なパートナーシップ
- ・教育...セクシャルマイノリティやジェンダーを含む授業

【日本】

- ・憲法24条1項...婚姻は両性の合意のみに基いて成立し、夫が同等の権利を有することを基本として相互の協力により、維持されなければならない。
- ・教育...保健の授業を男女分けて行う学校がある。

日本の民法では「夫婦」という男女の結婚が前提であるため、同性婚ができない。しかし、スウェーデンやカナダでは、LGBT先進国は法律上だけではなく、教育においても多様性を尊重し合う環境作りがなされている。

これらの先行研究から日本でもLGBT教育を促進すべきだと考えた。

3. 独自研究

主な独自研究として大きく三つある。一つ目は、大阪にあるプライドセンターにインタビューを行ったことだ。アンケートや独自の活動をするためにも、本職であり日常的に活動を行なっている方達の考えや取り組みを知っておく必要があると考えた。インタビューの結果、日本では同性婚やLGBTQに関する基礎知識がない人がまだ多いがゆえに考え方が遅れていることを学んだ。そして、私たちは人々の性に対する考え方を変えていくべきだと考え、「教育」に目を向けた。

二つ目に、インタビューで得た情報を基に高校三年生を対象としたアンケートを実施した。ここでは、LGBTQの認識を日常化させるために校内又は掲揚台にレインボーフラッグを設置することを提案した。

三つ目は、発信活動だ。私達は独自で中高生を対象としたワークシートや小説を、未就学児用の書籍では、LGBTQについて分かりやすくするためにイラストを使用した絵本を作成し、それぞれをSNSに投稿することで、多様性の大切さを多くの人に広めることができた。2

4. 結論と今後の課題

アンケートを行ったことにより、多様な意見を聞くことができ、今後の活動に向けての改善に繋がった。また、書籍やワークシートをSNSに投稿した際には、ALLYの方々からのフォローが増え、発信力が向上したため、今後はALLYの方だけでなく日常的にSNSを利用している人たちの目に留まるように投稿を継続する方針だ。

【参考文献】

伊藤義博・木下舞耶・清水鈴・中川紗佑里・吉本妙子『LGBTQ+を取り巻く社会の動きと世論』出版社 秀和システム, 2022年

石川 大我「好きのハテナがわかる本」太郎次郎社

国務省/法令集目録

https://www.senshu-u.ac.jp/School/horitu/researchcluster/hishiki/hishiki_db/thj0090/rex2.htm

1988年

QLSEEKER CANADA INC【日本語訳出来ない英語のためここではそののまま記載する】

<https://qlseeker.ca/immigration-column/common-law/> 2021年

NPO法人 EMA日本<http://emajapan.org/promssm/laws> 2016年

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

https://www.jil.go.jp/foreign/labor_system/2017/11/canada.html 2017年

Ontario <https://www.ontario.ca/fr/page/gouvernement-de-lontario> 参照日:2021年10月14日

SDGs CONNECT <https://sdgs-connect.com/archives/53539> 参照日:2023年01月23日